

平成30年4月1日

指導者 各位

鹿児島県バレーボール協会
会長 中村 耕治

バレーボール指導中の体罰根絶及び大会中のマナー・モラルの向上について（通知）

平素から、本協会の事業及び競技力向上に取り組んでいただき厚く感謝申し上げます。

さて、日本バレーボール協会では「指導における倫理ガイドライン」を公表し、体罰等の撲滅に努めていますが、まだ暴力行為（肉体的暴力・言葉による暴力）等が発生しているのが現状です。また、一方大会中におけるマナー・モラルの低下も指摘されております。

平成29年度、本県におきましても、小学校スポーツ少年団において暴言、高等学校において体罰事例が発生しております。

このような状況を鑑み、本協会でも倫理委員会を設置しており、暴力・体罰の根絶、マナー・モラルの向上に向け一層取り組んでいく所存であります。

つきましては、下記事項につきまして、各位が責任ある行動と自覚を持つと共に、選手の皆さん方にも周知徹底いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1 暴力・体罰の根絶について

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会の「指導者における倫理ガイドライン」の趣旨を踏まえ、選手の人権・人格を尊重した指導を行う。
- (2) 文部科学大臣メッセージ「スポーツ指導における暴力根絶に向けて」、公益財団法人日本体育協会会長「スポーツ指導における暴力根絶への対応について」を踏まえ、フェアプレーと非暴力の精神を尊重し、「スポーツ指導から暴力を一掃する」という基本原則を推進する。
- (3) 公益財団法人日本バレーボール協会の「倫理ガイドラインの誓約義務化」、「相談窓口」の設置を推進する。
- (4) 選手間の「いじめ」等について、常に注視し、健全なチームの運営に努める。

2 大会におけるマナー・モラルの向上について

- (1) 体育館使用上の留意点を遵守すること。
特に、指定場所以外での喫煙、弁当がら・ジュースの空き缶等の持ち帰り、体育館周辺の違法駐車等。
- (2) ルールに精通しておくこと。
審判員への監督・選手の暴言等。
- (3) フェアプレーと非暴力の精神を尊重すること。
違う選手の名前を借りての出場や、参加資格のない選手の出場、サイン盗みや選手に対する暴力・暴言等。
※ 各チームの責任で、選手・応援者等へ周知徹底してください。